

NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース

追加型投信／海外／債券
信託期間：2014年11月28日 から 2024年11月15日 まで 基準日：2020年6月30日
決算日：毎年5月16日および11月16日(休業日の場合翌営業日) 回次コード：3249

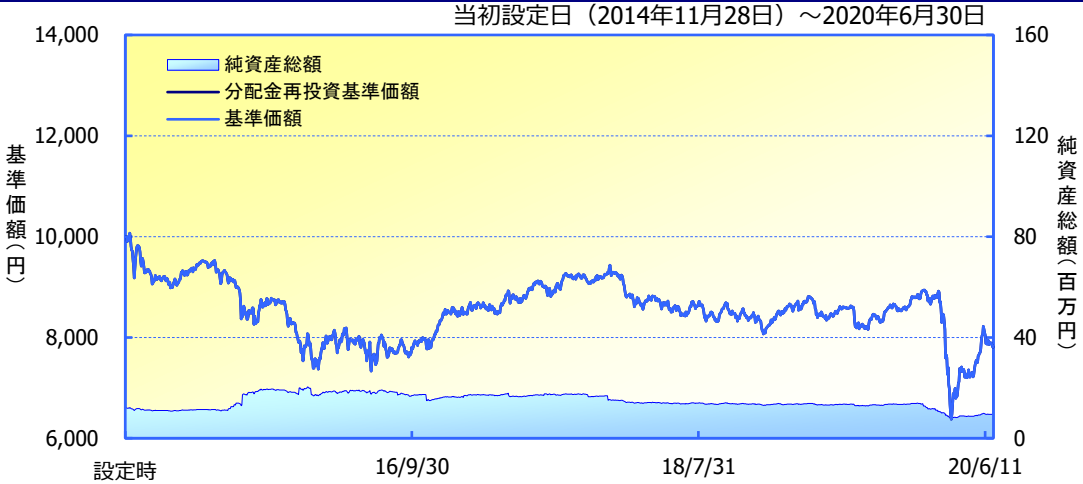
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

＜基準価額・純資産の推移＞

2020年6月30日現在

基準価額	7,811 円
純資産総額	9百万円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+1.7 %
3カ月間	+13.3 %
6カ月間	-11.8 %
1年間	-8.6 %
3年間	-12.9 %
5年間	-16.0 %
年初来	-11.8 %
設定来	-21.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

＜分配の推移＞

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期 (15/05)	0円
第2期 (15/11)	0円
第3期 (16/05)	0円
第4期 (16/11)	0円
第5期 (17/05)	0円
第6期 (17/11)	0円
第7期 (18/05)	0円
第8期 (18/11)	0円
第9期 (19/05)	0円
第10期 (19/11)	0円
第11期 (20/05)	0円
分配金合計額	設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決めます。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

＜主要な資産の状況＞

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド		合計97.7%
運用会社名	ファンド名	比率
ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アド・ハ イザース・LLC/大和アセットマネジメント	ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド(通貨分 散／N1クラス)*	97.6%
大和アセットマネジメント	ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0%

＜組入ファンドの資産別構成＞

※比率は、組入ファンドの純資産総額に対するものです。

ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド	
資産	比率
外国債券等	98.4%
現金等	1.6%
合計	100.0%

※MBS(住宅ローン担保証券)取引にかかるキャッシュポ
ジションについても考慮し算出しています。

取引対象通貨		合計100.0%
通貨	比率	
米ドル	8.3%	
カナダ・ドル	8.3%	
ユーロ	8.3%	
英ポンド	8.3%	
豪ドル	8.3%	
韓国ウォン	8.3%	
インドネシア・ルピア	8.3%	
中国人民幣元	8.3%	
インド・ルピー	8.3%	
ロシア・ルーブル	8.3%	
ブラジル・レアル	8.3%	
メキシコ・ペソ	8.3%	

※「取引対象通貨」は、取引対象通貨のポジションに対
するもので、純資産総額に対するものではありません。

*ファンド名は略称です。ファンドの詳細については、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会
社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

※ニューバーガー・バーマンの提供する現地月末時点のデータ等を基に大和アセットマネジメントが作成したものです。

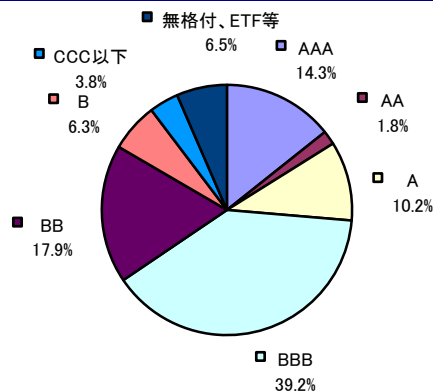
ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	5.0
最終利回り(%)	3.7
修正デュレーション	5.0
残存年数	11.2
銘柄数	187

通貨別構成		合計100.0%
通貨	比率	
米ドル	99.5%	
その他	0.5%	

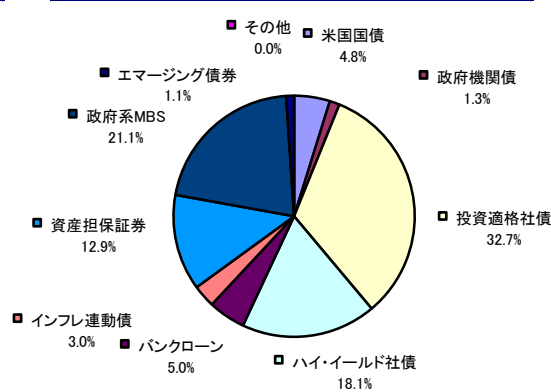
《債券種別月次変動要因分解》*	
債券種別	変動率
米国国債	-0.02%
政府機関債	0.02%
投資適格社債	1.32%
ハイ・イールド社債	-0.18%
バンクローン	-0.01%
インフレ連動債	0.05%
資産担保証券	0.16%
政府系MBS	0.09%
エマージング債券	0.00%
その他	0.03%
合計	1.45%

* 2020年5月末～2020年6月末の変動を表示しています。
 * 米ドルベースでの数値を表示しています。
 * その他の項目にはトレード要因等が含まれます。
 * 債券先物の売建ポジションの影響により米国国債価格の変動とパフォーマンスが一致しない場合があります。

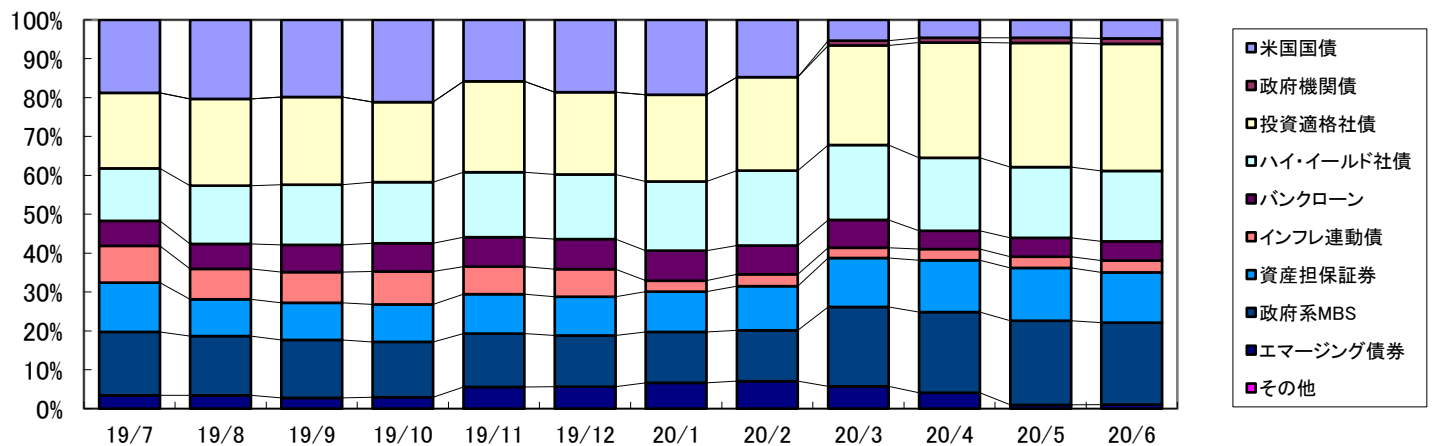
格付別構成



種別構成



債券種別構成の推移



組入上位10銘柄

銘柄名	種別	利率(%)	償還日	比率
UMBS 30YR TBA(REG A)	政府系MBS	2.5	2050/08/14	7.1%
UMBS 30YR TBA(REG A)	政府系MBS	3	2050/08/14	6.1%
INVESCO SENIOR LOAN ETF	バンクローン	---	---	5.0%
GNMA2 30YR TBA(REG C)	政府系MBS	3	2050/08/21	2.5%
STACR 17-DNA2 M2	資産担保証券	3.6345	2029/10/25	2.4%
STACR 17-DNA3 M2	資産担保証券	2.6845	2030/03/25	2.4%
GNMA2 30YR TBA(REG C)	政府系MBS	3.5	2050/08/21	2.2%
UMBS 15YR TBA(REG B)	政府系MBS	2.5	2035/08/16	2.0%
BANCO SANTANDER SA	投資適格社債	2.746	2025/05/28	2.0%
TREASURY (CPI) NOTE	インフレ連動債	1	2048/02/15	1.6%
合計				33.4%

※上記データは、四捨五入の関係で数値の合計が100%にならない場合や、合計の数値と一致しない場合があります。

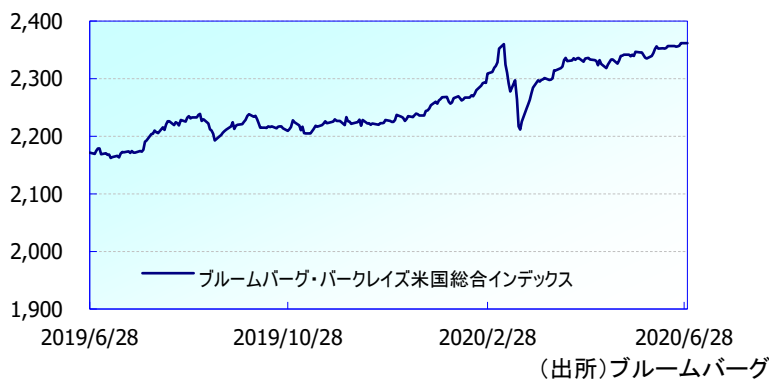
※上記比率は、MBS取引にかかるキャッシュポジションについても考慮し算出しています。

種別	市場動向	運用経過
米国国債	月上旬は、米国経済指標の改善や経済活動の再開に伴う景気回復期待等から利回りは上昇しましたが、その後は新型コロナウイルスの感染拡大懸念等からリスク回避姿勢が強まったことで利回りは低下し、月を通してみると利回りはおおむね横ばいとなりました。当ファンドでも、おおむね横ばいのリターンとなりました。	当月は先物のショートポジションを維持しました。今後は金利リスク量を機動的に調整する方針です。
政府機関債	当月は、インカム収入やスプレッド(米国国債に対する利回りの上乗せ幅)が縮小したこと等により、小幅にプラスのリターンとなりました。	地方債の組み入れを維持しました。
投資適格社債	当月は、FRB(米国連邦準備制度理事会)の資産買い入れによる需給面での支援材料に加え、堅調な経済指標等を背景に投資家心理が改善し、スプレッドが縮小したこと等から、プラスのリターンとなりました。	クレジット・ファンダメンタルズを踏まえて割安であると判断した銘柄を選択的に組み入れ、市場対比で高めの配分を維持しました。
ハイ・イールド社債	当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、マイナスのリターンとなりました。	当ファンドの組入銘柄は比較的下振れリスクに強いと考えており、市場対比で高めの配分を維持しました。
バンクローン	当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、小幅にマイナスのリターンとなりました。	バンクローンの需給要因を背景にバリュエーション上の投資妙味があるとの判断のもと、保有を維持しました。
インフレ連動債	当月は、小幅にプラスのリターンとなりました。	低位な期待インフレ率を背景にバリュエーション上の投資妙味があるとみており、保有を維持しました。
資産担保証券	当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理の改善を受けてスプレッドが縮小したこと等から、プラスのリターンとなりました。	良好なファンダメンタルズを維持していることに加え、相対的に高い利回り水準およびその他のクレジット資産との低い相関性により、市場対比で高めの配分を維持しました。
政府系MBS	当月は、インカム収入の下支え等により、プラスのリターンとなりました。	ポートフォリオの分散やクレジットの質の観点から、ポートフォリオでの配分を相対的に高めに維持しました。
エマージング債券	当月は、経済回復の兆しがみられる中、投資家心理は改善したものの、おおむね横ばいのリターンにとどまりました。	短期的にはボラティリティ上昇が想定されること等から配分を低位としましたが、スプレッド水準に割安感があるとの判断のもと、保有を維持しました。

《参考》市況データ

(2019年6月28日～2020年6月30日)

債券指数の推移



※ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスは、ブルームバーグが公表しているインデックスであり、米ドル建て投資適格債券市場のパフォーマンスをあらわします。ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

＜為替市況＞

米ドル円相場は、米国の経済指標が市場予想を上回ったことなどから、米ドル円は一時上昇しました。しかし、FOMC（米国連邦公開市場委員会）後の米国での金利低下を受けた米ドル安の流れや、新型コロナウイルスの第二波警戒を受けたリスク回避の動きが円高につながり、米ドル円は下落に転じました。月末にかけては、経済対策期待から米ドルが買い戻され、米ドル円は前月末とほぼ同水準となりました。

米ドル以外の選定通貨の月間の騰落は、韓国ウォン、インドネシア・ルピア、豪ドル、ユーロ、中国人民元、ロシア・ルーブル、カナダ・ドル、インド・ルピーは対円で上昇しました。一方、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、英ポンドは対円で下落しました。

6月は引き続き、米ドル、カナダ・ドル、ユーロ、英ポンド、韓国ウォン、インドネシア・ルピア、中国人民元、インド・ルピー、ロシア・ルーブル、ブラジル・レアルの12通貨で運用を行いました。また、取引対象通貨合計の比率はおおむね100%としました。

＜今後の見通し＞

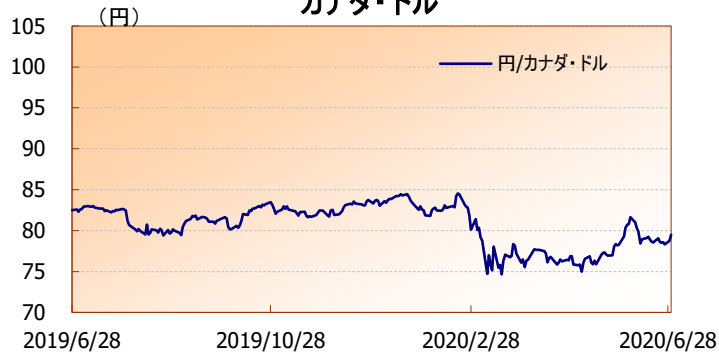
米国を中心に、年単位で低金利環境が継続すると見込まれる中、利回りを求める市場参加者からの需要によってクレジット資産は今後も下支えされるとみています。特に、FRB（米国連邦準備制度理事会）や欧州中央銀行（ECB）による資産購入プログラムの直接的な購入対象となる投資適格社債や一部の米国ハイイールド債券については、より強い需給面での支援が期待できると考えられます。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う消費需要の減退の影響を受けやすいセクターに属する企業については、引き続き下方リスクを注視する必要があります。一方で、多くの企業の経営陣は、足元の不透明な環境を踏まえ、自社株買いや配当を含む株主還元の削減のほか、設備投資の削減、コスト削減、手元流動性の拡充、負債を増加させる形での買収の抑制等、過去と比べて保守的な事業戦略・財務戦略を採用しています。段階的に経済活動が再開され、2020年後半にかけて経済が回復に転じた場合には、企業のクレジット・ファンダメンタルズについても改善する可能性が高いとみています。ただし、新型コロナウイルス感染の第二波や米中対立の激化、米国大統領選挙の動向、EU（欧州連合）離脱の移行期間終了後の英国のあり方など、様々な潜在的リスクが存在しており、クレジット市場を中心に金融市場においてボラティリティが高まる局面には留意が必要です。

なお、当ファンドは全口数について解約請求があったため、信託終了日を繰り上げ、2020年7月20日をもって信託を終了します。

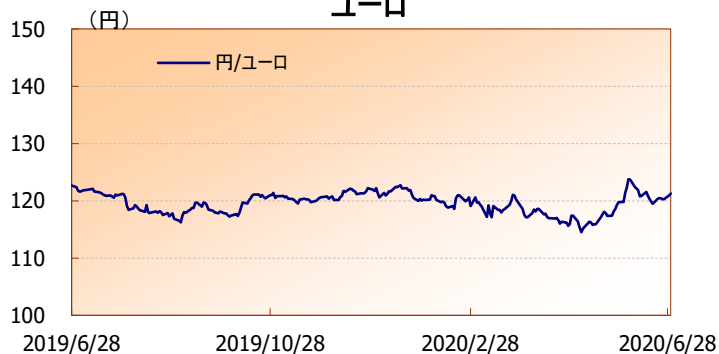
米ドル



カナダ・ドル



ユーロ



英ポンド



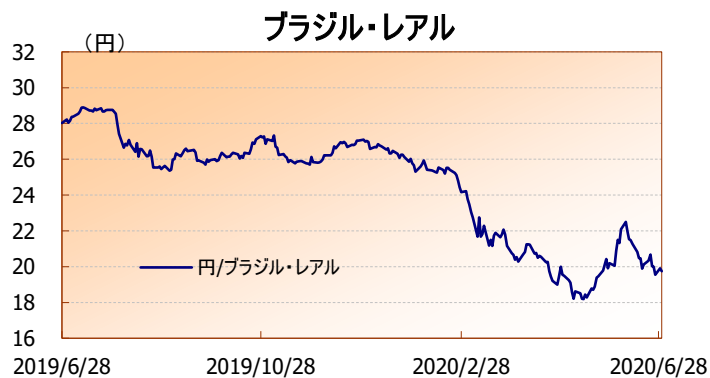
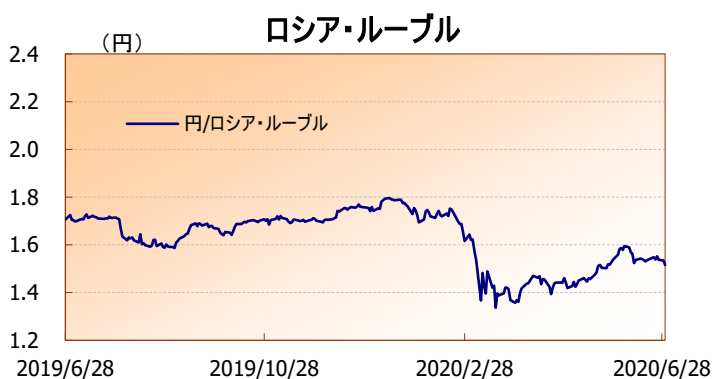
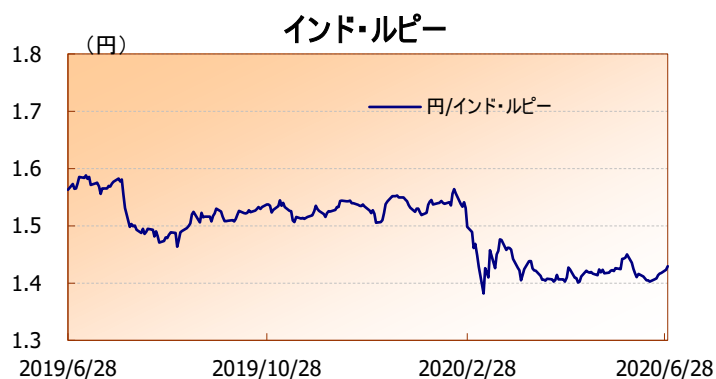
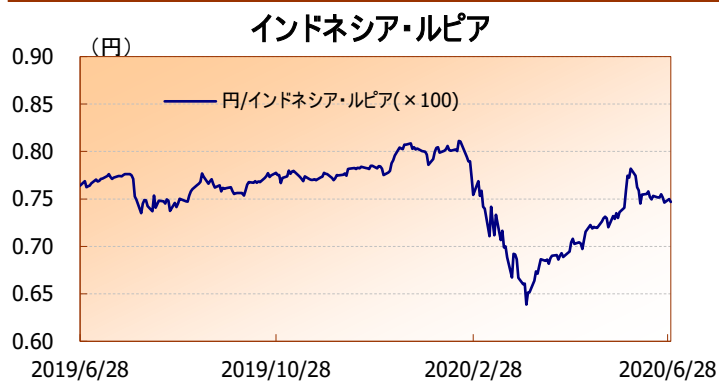
豪ドル



韓国ウォン



(出所)ブルームバーグ



(出所)ブルームバーグ

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- 米ドル建ての複数種別の債券等に投資するとともに、機動的に配分比率を調整し、トータルリターンを最大化を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 市場環境にかかわらず、安定的な利子収入の確保と値上がり益の獲得を通じて、トータルリターンを最大化をめざします。
2. 米ドル建ての複数種別の債券等に分散投資し、安定的な利子収入の確保をめざします。
◆ 当ファンドが投資する債券等の種別は以下のとおりです。
国債・政府機関債、投資適格社債、ハイ・イールド社債、資産担保証券、バンクローン 等
3. 景気サイクルや投資機会の変化を捉え、各種別の配分比率を機動的に調整し、値上がり益の獲得をめざします。
◆ 債券等の運用は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズLLCが行ないます。
4. 為替取引の内容の異なる3つのコースがあります。

- 当コースは原則として、米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等*を活用して、分散通貨への投資成果の獲得をめざします。 *為替取引もしくはスワップ取引を活用します。
 - ・分散通貨の為替変動による為替差益または為替差損が発生します。
 - ・為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）が発生します。
- ※ 分散通貨とは、以下の方針により、投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。「取引対象通貨」ということがあります。
- ※ 一部米ドル建て以外の通貨建ての資産に投資する場合、為替取引を行わないことがあるため、分散通貨以外の為替変動の影響を受けることがあります。

〔分散通貨のイメージ〕

- 原則として、先進国と新興国あわせて 12 通貨に均等投資することを基本とします。
 - 分散通貨は、各国の経済規模や通貨の流動性等を考慮し、原則、年 1 回見直します。
- ※流動性が著しく悪化した通貨が存在する場合などには、投資する通貨が 12 通貨を下回ることがあります。

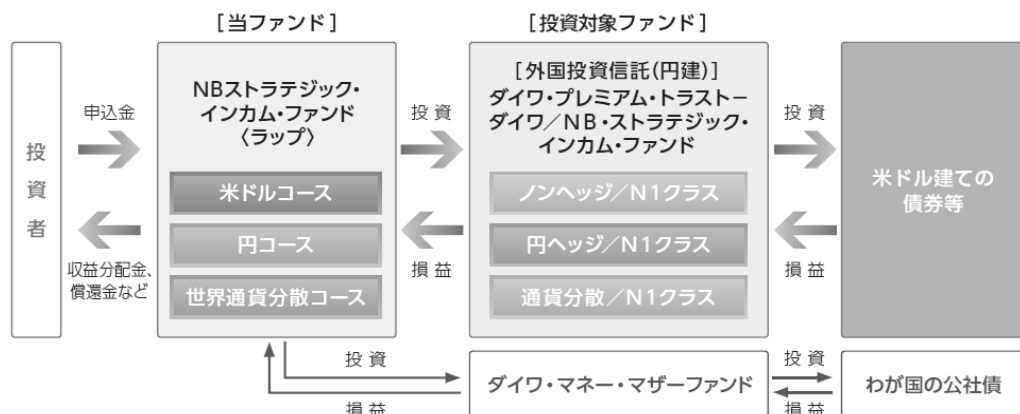
- ・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉米ドルコース：米ドルコース
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉円コース：円コース
NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉世界通貨分散コース：世界通貨分散コース
- ・各ファンドの総称を「NBストラテジック・インカム・ファンド〈ラップ〉」とします。

5. 当ファンドは、販売会社の提供するラップ口座等に係る投資一任契約に基づいて、ラップ口座等の資金を運用するためのファンドです。

- 当ファンドの購入の申込みを行なう投資者は、販売会社とラップ口座等に関する契約および同口座に係る投資一任契約を締結する必要があります。

6. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

- 外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建ての債券等に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（公社債の価格変動、ハイ・イールド債券の価格変動、資産担保証券の価格変動、バンクローンの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「スワップ取引の利用に伴うリスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※分散通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。分散通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を行ないませんが、投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。

※分散通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※一部米ドル建て以外の通貨建ての資産に投資する場合、為替取引を行わないことがあるため、分散通貨以外の変動の影響を受けることがあります。

※投資対象である外国投資信託において、NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 0.473% (税抜 0.43%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする投資信託証券	年率 0.57%～0.67%程度 (純資産総額の水準により変動します。) この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／NB・ストラテジック・インカム・ファンド」に対して、固定報酬として年額 12,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.143% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

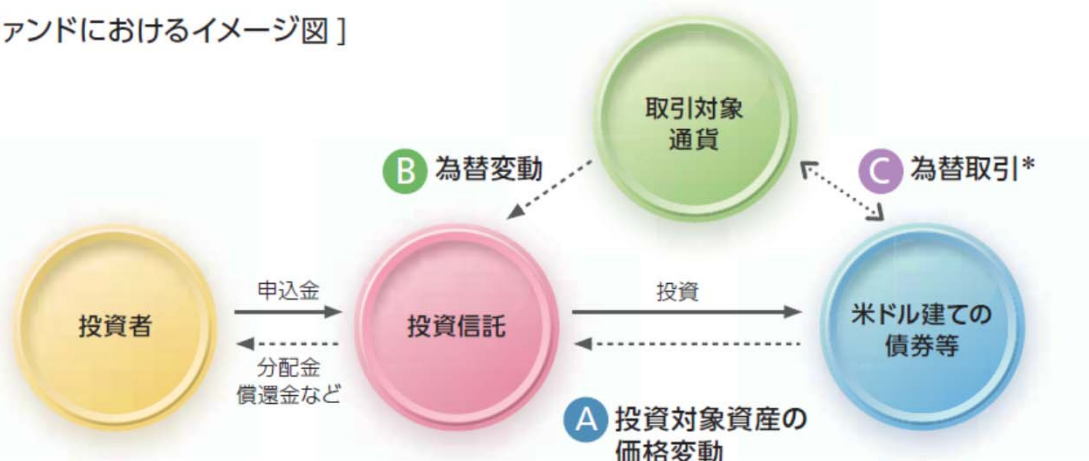
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

《世界通貨分散コースの収益のイメージ》

- 世界通貨分散コースは、投資対象資産に加えて、米ドル売り／分散通貨買いの為替取引等を行なうよう設計された投資信託です。

[当ファンドにおけるイメージ図]



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。
これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	A	B	C (注)
収益の源泉 =	米ドル建ての債券等の 利子収入、 値上がり／値下がり	為替差益／差損	為替取引による プレミアム／コスト (金利差相当分の収益／費用)
収益を得られる ケース	・金利の低下 債券等の価格の上昇、利子収入	・円に対して取引対象通貨高 為替差益の発生	取引対象通貨 の短期金利 > 米ドルの 短期金利 プレミアム (金利差相当分の収益)の発生
損失や コストが 発生する ケース	債券等の価格の下落 ・金利の上昇 ・発行体の信用状況の悪化	為替差損の発生 ・円に対して取引対象通貨安	コスト (金利差相当分の費用)の発生 取引対象通貨 の短期金利 < 米ドルの 短期金利

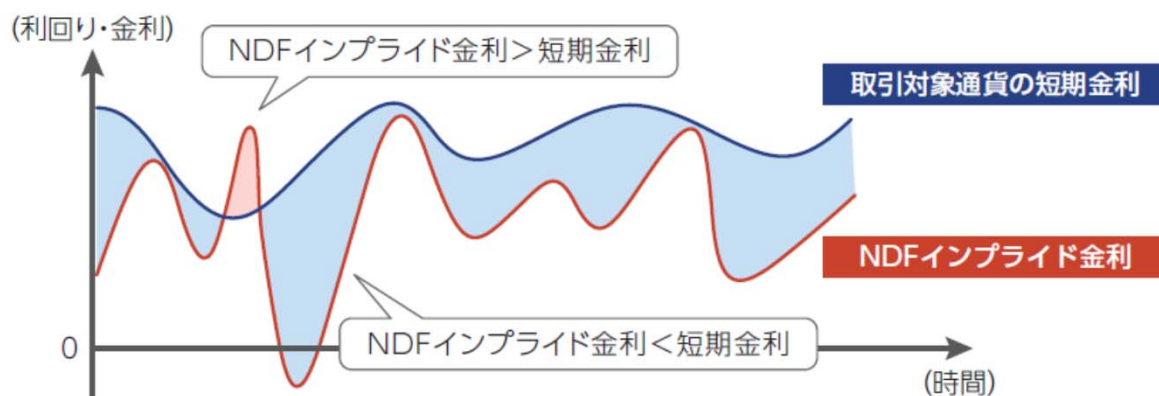
(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム／コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※ 上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

《NDF取引とは》

- ❖ 取引対象通貨を用いた受け渡しは行なわず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ❖ NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

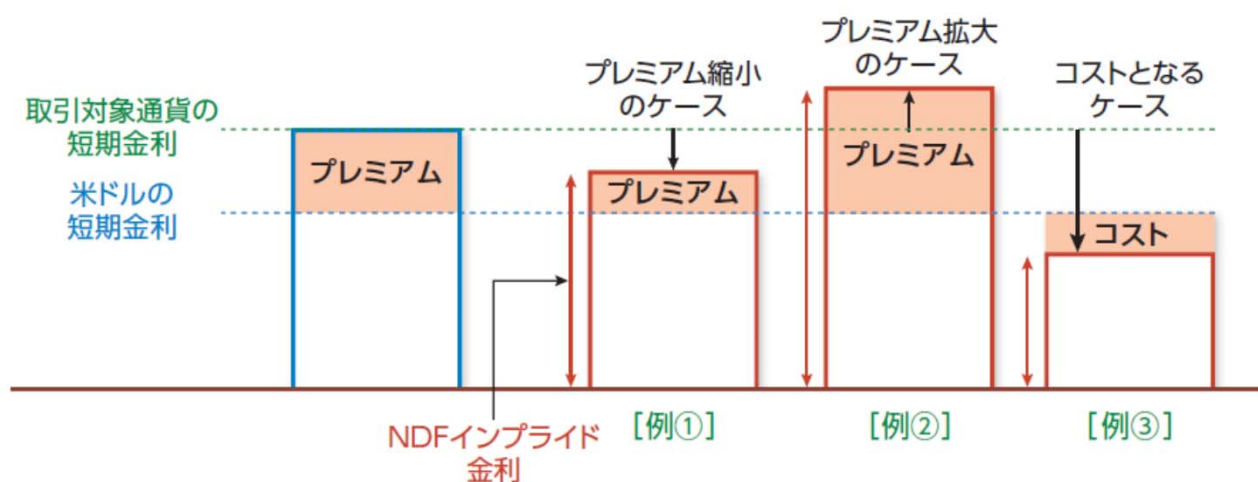
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ❖ 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

《当資料のお取り扱いにおけるご注意》

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

NBストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○		○	

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。